



森っこサンちゃんとともに 東京のふるさとを発信



森っこサンちゃんと「秋川溪谷」のロゴマーク

平成26年第1回市議会定例会において、臼井孝市長が発表した施政方針の内容をお知らせします(原文を基に掲載)。

あきる野市には、首都東京の利便性と心の豊かさ、やすらぎをもたらす自然環境、素晴らしい伝統・文化、それに加え温かな人と人とのつながりなど、ふ

るさととの原風景があり、魅力的なまちづくりに無限の可能性を秘めているといえます。一方で、人々の価値観が多様化するともに、情報通信技術の発展に伴い、より情報を入りやすく、また、発信しやすくなり、また、利便性を追求するあまり、地域のつながりやまちが持つ文化、原風景が失われることが懸念されます。さらに、わが国では、世界で

平成26年度施政方針

も例を見ない速さで少子高齢化、人口減少が進み、緩やかな人口増加が続いてきたあきる野市にも変化の波が押し寄せております。

このような時代にあつて、私は、まちづくりの主役である市民との協働を進めながら、行政改革と財政基盤の強化を図ること、後世に誇れる「ふるさとづくり」に取り組んでいく必要があると強く感じております。

魅力あふれるまちづくり

観光と環境の取組を緊密に連携させながら地域の活性化を図るため、昨年設置した地域活性化協働センターでは、市民、各種団体、事業者などと協働し、地域資源を活用した事業を展開してまいりました。

特に、観光分野では、秋川溪谷の魅力発信のために、旅行事業者やマスコミを対象とした観光プロモーションを展開し、瀬音の湯の来場者数が過去最高になるなど、テレビや各種媒体の効果に大きな可能性を感じたところであります。これまでも、あきる野映画祭や五日市物語の製作を通じて培ったノウハウや人材などを活用しながら、フィルムコミッション事業に注力し、従来の映画やテレビ番組の撮影支援に留まることなく、自ら映像や画像を制作し、活用することで、まちの魅力を強力に発信してまいります。

旧戸倉小学校の活用につきましては、首都大学東京を交えた地域の皆さんとの検討結果を踏まえながら、宿泊機能も兼ね備

3月の休日医科診療と歯科診療(急患の方)

往診はしません

期 日	休 日 診 療		準 夜 診 療		歯 科 診 療
	受付時間 9:00~11:45 13:00~16:45	診療時間 9:00~12:00 13:00~17:00	受付時間 17:00~21:45	診療時間 17:00~22:00	受付・診療時間 9:00~12:00 13:00~17:00
期 日	医療機関・住所・電話番号		医療機関・住所・電話番号		医療機関・住所・電話番号
2日	瀬戸岡医院 二宮1240 558-3930		米山医院 二宮1133 558-9131		梅田歯科医院 福生市福生1046岸ビル102 553-5161
9日	櫻井病院 原小宮1-14-11 558-7007		池谷医院 秋川1-3-7 550-0005		吉野歯科医院 福生市福生887-6星野マンション1F 551-3050
16日	小机クリニック 小中野160 596-3908		伊藤整形外科 秋川3-5-7 558-6211		今里歯科医院 福生市本町78 551-0440
21日	佐藤内科循環器科クリニック 秋川2-5-1 550-7831		草花クリニック 草花2724 558-7127		大浦歯科医院 福生市福生867 553-0667
23日	あきる野台病院 秋川6-5-1 559-5761		さくらクリニック 野辺1003 559-0118		北田園歯科 福生市北田園1-6-3 552-1700
30日	いなメディカルクリニック 伊奈477-1 596-0881		こばやし内科小児科クリニック 草花1439-9 518-2088		ひらい歯科医院 日の出町大字平井971 597-5979

午前中の診療患者が多いなどの事情で、午後の診療時間が変更になる場合があります。また、受診する際は、診療科目を事前に確認してください。
救急相談センター #7119(救急車を呼んだ方が良いか迷った場合、携帯電話、PHS、プッシュ回線)
夜間等診療機関案内 消防庁テレホンサービス521-2323 東京都ひまわり03-5272-0303 秋川消防署595-0119

3月の市税の納期

〇〇市・都民税 随時期
国民健康保険税 随時期

えたち着地型の秋川溪谷観光の拠点施設とすべく、平成27年のオープンを目指し、改修工事の設計に着手してまいります。同時に、運営主体の在り方につきましても、地域の活性化を視点として、地元の方々の中心に関係団体などとの協議を進めてまいります。

また、武蔵五日市駅前の市有地の活用につきましても、観光情報の発信、おもてなしの拠点が整備できるよう、民間とのパートナーシップの在り方などを検討しながら、民間事業者からの提案を広く募ってまいります。このような取組を通して「観光都市あきる野」としての

強固な礎を築いてまいりたいと考えております。環境分野では、郷土の恵みの森構想に基づく活動を展開するとともに、現在策定を進めている生物多様性地域戦略につきましても、当市の豊かな生物多様性の保全などについて、より検討を進める必要があるため、予定を半年間延長し、自然環境調査などにより集められたデータを整理しながら、策定委員会の下、「環境都市あきる野」ならではの計画づくりに取り組んでまいります。

2面につづく